



## オセアニア

2007年、オセアニア地域で新たに HIV に感染した人々は推定 1 万 4 千人[1 万 1 千–2 万 6 千人]で、HIV 感染者数は 7 万 5 千人[5 万 3 千–12 万人]と推定される。

オセアニア地域の HIV 感染者の 70%以上を抱えるのがパプア・ニューギニアで、感染は現在も広がり続けている。ただし、その規模は以前に考えられていたよりも小さいと思われる。今日までに報告された HIV 感染者の大半が、人口の 80%が暮らす農村部からのものである。(National AIDS Council Secretariat Papua New Guinea, 2007)。安全でない異性間の性行為が主な HIV 感染経路だと推定されている。

オーストラリアでは、男性間の無防備な性行為が主な感染経路であることに変わらない(National Centre in HIV Epidemiology and Clinical Research, 2007)。1990年代には予防対策により HIV 感染を抑えることができたが、2000年から2005年には男性間の安全でない性行為が増加したことに伴い、新規 HIV 感染が 41%も増加した(National Centre in HIV Epidemiology and Clinical Research, 2006)。

ニュージーランドでは、国内での主な HIV 感染経路は現在も男性間の安全でない性行為である。しかし、新たな HIV 感染者のなかで異性間の無防備な性行為による感染が増えている。異性間の安全でない性行為による感染の大半は、アジアやサハラ以南アフリカなど国外での感染である(Ministry of Health New Zealand, 2007)。